

## 教科シラバス（外国語科）

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		3	2	必修	一斉
<b>使用教科書・副教材・準備物</b>					
COMET English Communication Ⅱ（数研出版） COMET English Communication Ⅱ ベーシックノート（数研出版）					
<b>科目の概要</b>			<b>学習目標</b>		
この科目は、「コミュニケーション英語Ⅰ」の基礎の上に、より発展的な学習を展開するように設定されたものである。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解する力を養う。</li> <li>・情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばす。</li> <li>・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</li> </ul>		
<b>年間学習プログラム</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>学習のねらい</b>			
1学期	Lesson 8 Do We Need That?  Lesson 9 Changing Feelings	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのサービスやそれに対する日本と海外の考え方の違いについて読み取る。</li> <li>・感情と思考の関連性について読み取る。</li> </ul>			
2学期	Lesson 10 Ban Shigeru, Architect of Paper  Lesson 11 Win for Our Nation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築家・坂茂さんと彼の活動について読み取る。</li> <li>・マンデラとスプリングボックスの挑戦やアパルトヘイトについて読み取る。</li> </ul>			
3学期	Lesson 12 From Small Factories to the World	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の工場のものづくり精神や高度な工業技術について読み取る。</li> </ul>			
<b>評価の観点及び内容</b>					
関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	理解の能力	幅広い話題について、読んだ英語の内容の概要や要点を把握することができる。		
表現の能力	幅広い話題について伝えたい情報や考えなどを英語で正確に書いたり話したりすることができる。	知識・理解	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解する。		
<b>評価方法及びその他留意事項</b>					
定期考査、学習態度、授業における発表、課題・ノート・ワークブックの提出を含め、上記4つの観点から総合的に評価する。					